

平成24年10月 3 日

宮城県政記者クラブ加盟社各位

東北大学埋蔵文化財調査室

日本文化財科学会公開講演会のご案内

来る10月21日（日）に、東北大学川内萩ホールにおきまして、日本文化財科学会主催、東北大学埋蔵文化財調査室共催で、公開講演会『過去に学ぶ防災』を開催しますので、ご案内いたします。

日本文化財科学会は、文化財に関する自然科学・人文科学両分野の学際的研究の発達および普及を図ることを目的とした学会です。毎年、一般向けに公開講演会を開催しておりますが、今年度は東日本大震災を受けて、遺跡調査での自然科学・人文科学両分野の研究から、過去の自然災害を明らかにする研究成果を広く一般の方へ紹介する企画です。また、東日本大震災で被災した紙資料のレスキュー活動についての報告もあります。

事前案内、当日の取材など、ご協力いただけますなら幸いに存じます。

記

日 時 : 平成24年10月21日（日） 13:00～16:30

場 所 : 東北大学川内萩ホール

※入場無料、資料代無料。詳細は、添付のチラシをご覧ください。

問い合わせ先

東北大学埋蔵文化財調査室（担当：特任准教授 藤沢敦）

TEL：022-217-4995 FAX：022-217-5103

メール：a-fujisawa@bureau.tohoku.ac.jp

12:30 ~

開場

13:00 ~ 13:10

開会挨拶

日本文化財科学会会長 木下正史

主旨説明

日本文化財科学会文化財防災特別委員長 今津節生

13:10 ~ 13:55

東日本大震災被災紙資料の救援

高妻洋成（奈良文化財研究所）

13:55 ~ 14:40

貞観地震・津波からの陸奥国府多賀城の復興

柳澤和明（東北歴史博物館）

14:40 ~ 14:55

休憩

14:55 ~ 15:40

堆積物から復元される仙台平野の巨大津波

松本秀明（東北学院大学）

15:40 ~ 16:25

地震考古学から 21 世紀の大地震を探る

寒川旭（産業総合研究所）

16:25 ~

閉会挨拶

日本文化財科学会行事担当 石崎武志

※プログラムは一部変更となる場合がございます。

平成24年度
文部科学省科学研究費
『研究成果公開発表(B)』助成

文化遺産と科学

過去に学ぶ防災

2012年10月21日(日) 13:00 ~ 16:30

東北大学川内萩ホール ※入場無料

主催：日本文化財科学会

共催：東北大学埋蔵文化財調査室

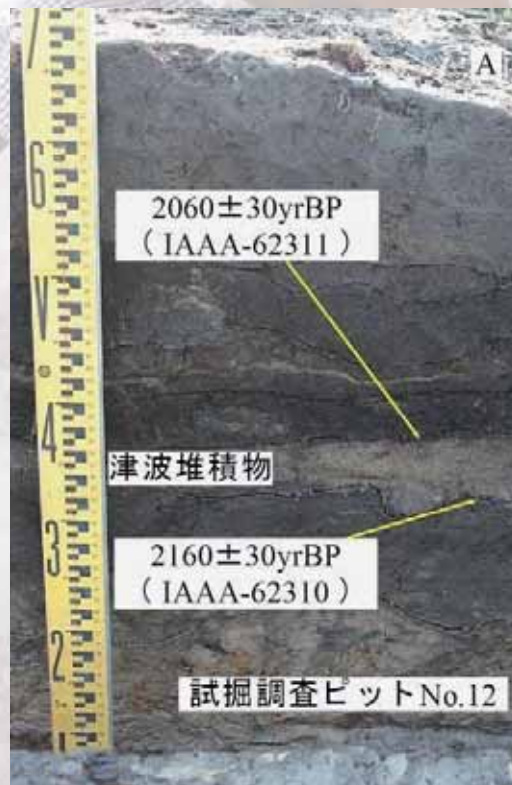
【開催趣旨】

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、平安時代の貞観地震（869年）とそれに伴う津波の再来と言われています。1000年に一度の大災害ですが、さらに昔の弥生時代中期（約2000年前）にも、現在の海岸から4キロも離れた杓形遺跡（仙台市若林区荒井）で津波堆積物の砂で覆われた水田が発見されています。

このように、遺跡を発掘すると、水田を埋める津波や水害の痕跡、噴砂や断層などの地震痕跡、火山灰に覆われた住居跡などを発見することがあります。地下に埋もれた微妙な変化を科学の力で解き明かすことによって、遠い過去の災害の記憶を記録することが可能です。

私達は遺跡と共に地下に眠る災害の痕跡を市民の皆さんにも知っていただき、自分の住む町の防災・減災に役立てていただきたいと願って講演会を企画しました。

東日本大震災からの復興に向けた街づくり、今後予想される南海トラフの巨大地震に備えた防災・減災計画のためにも、現在を知り、過去に学んで未来に生かすことが大切だと考えます。多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしています。



約2000年前の津波堆積物
杓形遺跡（仙台市若林区荒井）

【実行委員会】

木下正史（日本文化財科学会会長）
石崎武志（東京文化財研究所）
今津節生（九州国立博物館）
上原真人（京都大学）
藤沢 敦（東北大学）

【お問合せ先】

日本文化財科学会事務局
〒631-8502
奈良市山陵町1500 奈良大学文学部文化財学科内
TEL：0742-41-9548 FAX：0742-41-9548
E-mail：jssscp@daibutsu.nara-u.ac.jp

【アクセス】

◆バス

- ・仙台駅前9番のりばより「宮教大・青葉台行」または「青葉通経由動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車（乗車時間約15分）徒歩3分
- ・仙台駅前16番のりばより「広瀬通経由交通公園・川内（営）行」または「広瀬通経由交通公園循環」に乗り、「川内郵便局前」で下車（乗車時間約15分）徒歩7分

◆タクシー

仙台駅から約10分、仙台空港から約40分

◆徒歩

地下鉄広瀬通駅から約25分、仙台駅から約40分

